

Internet Explorer11 において、入力モードが切り替わってしまう事象について

Internet Explorer11 を利用して入札参加資格者名簿登録申請(新規・継続・変更)を行う場合に、入力モードが意図せず「全角入力」から「半角カナ入力」になってしまうことがあります。本事象は、日本語入力システムを Microsoft IME に切り替えることで解消します。

画面例（入札参加資格者名簿登録申請—本社基本情報入力画面）

平成23・24年度:新規:建設工事

本社基本情報入力画面

1 → 2 → 3 → 4 → 5

各項目の注記を参考に、数字項目は半角で、日本語項目は全角で入力してください。なお、「~」「|」や外字等は使用できません。ブラウザの「戻る」機能は使用しないでください。利用した場合、それまでに入力したデータの保証はできませんのでご注意ください。
※最終画面に1画面目に戻るためのボタンが用意されています。

■ 記入者情報（申請される方個人の情報）

記入者 氏名	[全角]		
記入者 電話番号	-	-	[半角数字]
記入者 FAX番号	-	-	[半角数字]
記入者 E-mail	[半角] ※携帯電話のメールアドレスは使用できません。		


■ 本社基本情報

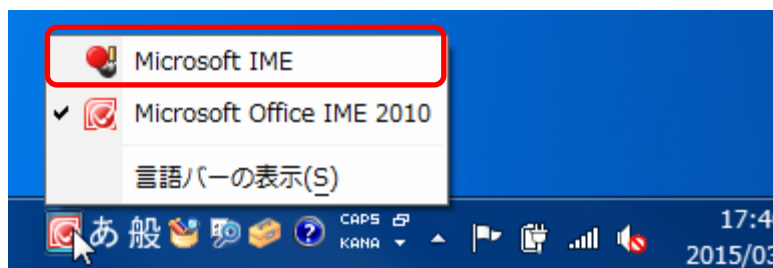
会社名等	[全角]
会社名等 フリガナ	[全角カタカナ]
代表者役職	[全角]
代表者氏名	[全角]
代表者氏名カナ	[全角カタカナ]

日本語入力システムを Microsoft Office IME から Microsoft IME に切り替える方法をご案内します。言語バーで Microsoft IME を選択できる場合と選択できない場合で操作が異なりますので、以下の手順に従い日本語入力システムを切り替えてください。

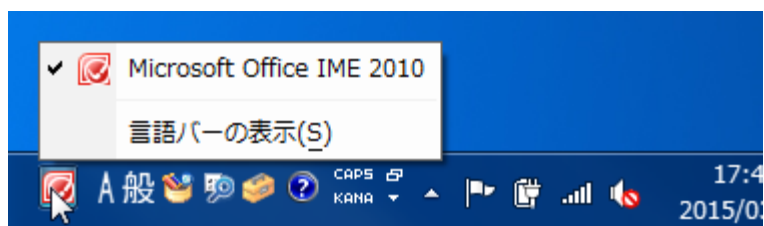
日本語入力システム切り替え方法

【言語バーで Microsoft IME を選択できる場合】

言語バーの Microsoft Office IME のマークをクリックし、「Microsoft IME」をクリックして選択します。この方法により、日本語入力システムを切り替えることが可能です。

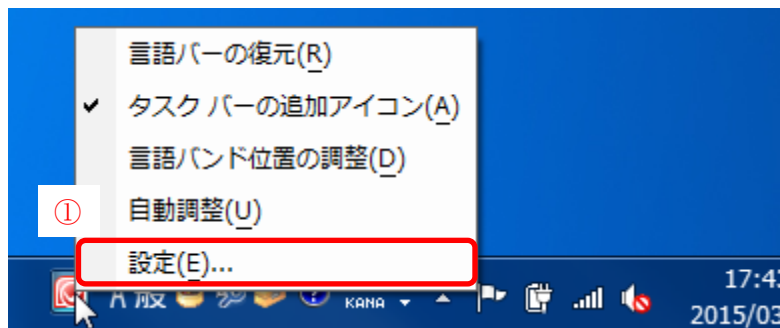


なお、次のように言語バーで Microsoft IME を選択できないときは、
【言語バーで Microsoft IME を選択できない場合】をご覧ください。



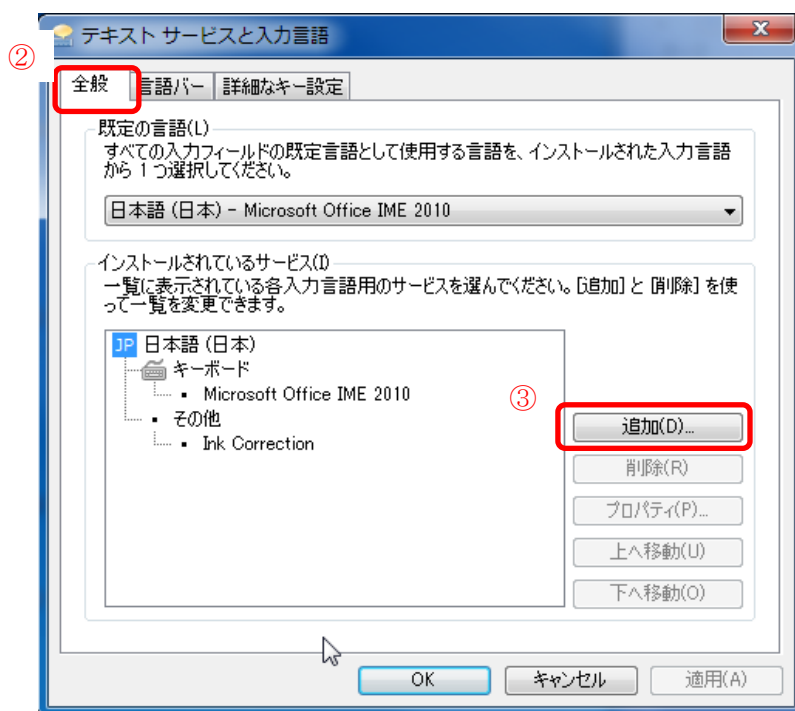
【言語バーで Microsoft IME を選択できない場合】

①言語バーの上で右クリックをして、「設定」をクリックします。

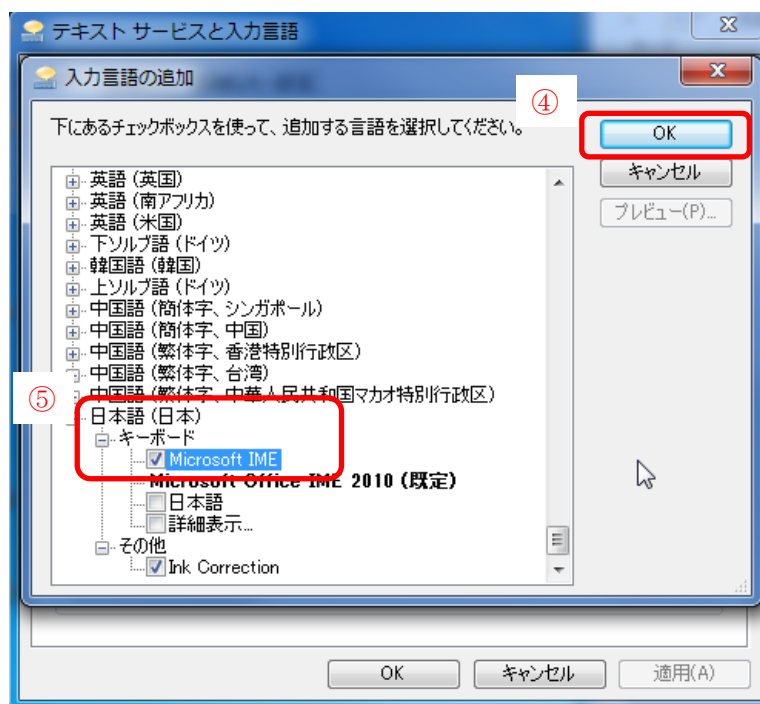


②「テキストサービスと入力言語」が表示されますので、「全般」タブをクリックします。

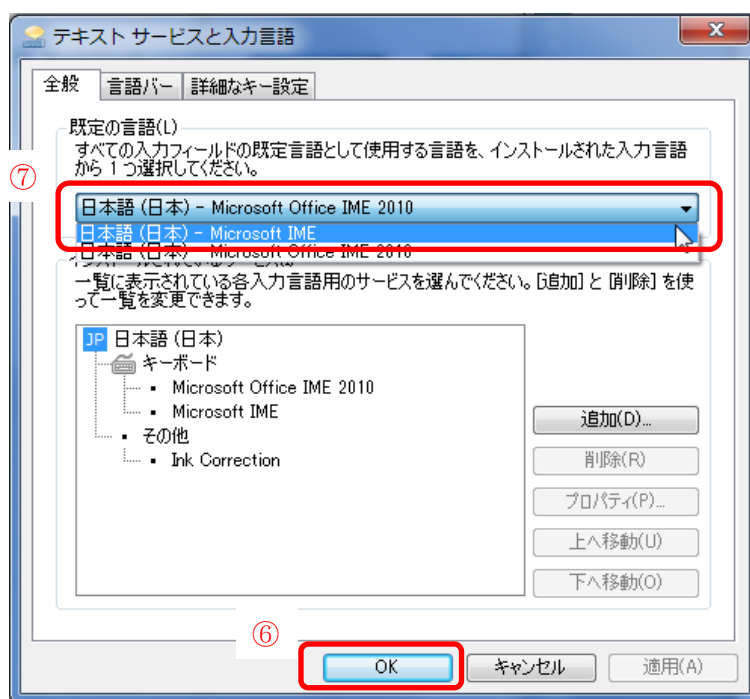
③「追加」をクリックします。




- ④「入力言語の追加」で「日本語(日本)」-「キーボード」の「Microsoft IME」にチェックします。
⑤「OK」をクリックします。

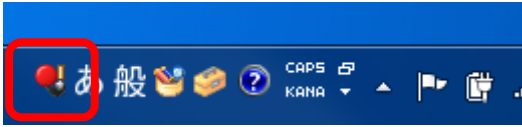


- ⑥「テキストサービスと入力言語」の「全般」タブで「日本語(日本)-Microsoft IME」を選択します。
⑦「OK」をクリックしてください。



5. 言語バーが Microsoft IME に変更されます。

Microsoft IME のマークに変わったことを確認してください。



以上で、日本語入力システムの切り替えは完了となります。

なお、普段利用している日本語入力システムの設定から変更した場合には、入力予測等が機能しない場合がありますので、入札参加資格者名簿登録申請での入力を終えられたら、必要に応じて設定を戻してください。